

2025 年度 4 月入学

Academic Year 2025, April Enrollment

名古屋大学大学院生命農学研究科

博士前期課程

外国人留学生募集要項

Guidelines for Admission of the Foreign Students
to the Master's Program

名古屋大学大学院生命農学研究科

Graduate School of Bioagricultural Sciences

Nagoya University

本研究科ではインターネット出願を導入しており、出願書類の提出の前にオンラインでの出願登録が必要になります。出願に必要なパソコンやプリンター等の機器、メールアドレス、顔写真データ、検定料の支払い方法、書類の提出方法等を十分確認のうえ、時間には余裕を持って出願を行ってください。なお、インターネット出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

The Graduate School of Bioagricultural Sciences is accepting online applications. The applicants require online application registration before submitting application documents. Please make sure you have sufficient time to check the necessary equipment (e.g. computer, printer, etc.), e-mail address, photo data, payment method for the examination fee and how to submit the documents before submitting your application.

Important information about the examination and other related issues may be sent by the University to your registered e-mail address. Therefore, please use an e-mail address that you check on a regular basis and has little chance to be changed or deleted.

名古屋大学大学院生命農学研究科のアドミッション・ポリシー

(1) 入学者受入れの方針

生命農学を探究するために必要な学力を有し、高い専門性を持った指導者や技術者として、知識と能力を社会に役立てようという志をもつ国内外の人材を求めています。

(2) 選抜の基本方針

生命農学関連専門科目の知識・理解力と論理的思考力・応用力」を学力検査によって、「英語能力」を外部試験成績によって評価します。また、「志望する研究分野に対する明瞭な志向と勉学の熱意」および「その分野に関連する基本的な知識と理解力」を面接・口述試験によって評価し、入学者を選抜します。

個人情報の取り扱いについて

出願にあたって提供された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うためのみに利用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用いたしません。

Treatment of information on individuals (at Nagoya University)

Any information regarding individuals which has been obtained from application documents, shall be used for the purposes of notifications concerning the application in hand, entrance examinations, announcements of results of entrance examinations, enrollment procedures and any other items subsidiary to these situations. It will also be used for the administration of the school register and for academic records connected with student academic affairs after enrollment. Furthermore, any information obtained concerning individuals will be treated appropriately, and shall never be used for any reason other than its administrative purpose.

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

- ◇ 生命農学研究科受験生向けホームページ

URL <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jukensei/index.html>



- ◇ 連絡窓口

名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

E-mail : kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp

< Changes in examination schedule and procedures due to unforeseen circumstances >

The examination schedule and selection measures may be modified in the event of an outbreak of infectious disease or other unforeseen circumstances. Please check the website regularly for the latest notices, especially in the days preceding the application and examination periods.

- Website of Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University (Admission Information)

<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/english/admission/index.html>



- Contact info:

Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

1. 出願資格

日本国籍を有しないもの（日本国永住許可を得ているものを除く。）であって、「留学」の在留資格を有し、かつ次の(1)～(10)のいずれかに該当する者のうち、2024年度に実施する2025年度本研究科博士前期課程入学試験合格者以外の者。

ただし、入学手続時まで「留学」の在留資格を取得できる予定の者については、出願時にその資格を有しなくても出願できる。

（本研究科入学時まで、(1)～(10)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者
- (8) 旧制学校等を修了した者
- (9) 外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者

(注) 出願資格(9)により出願する者は、あらかじめ本研究科教務学生係へ照会し、所定用紙を2024年9月20日（金）までに（郵送の場合は16時必着で）提出してください。

- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者

(注) 出願資格(10)により出願する者は、あらかじめ本研究科教務学生係へ照会し、所定用紙を2024年9月20日（金）までに（郵送の場合は16時必着で）提出してください。

2. 募集人員 若干名

3. 専攻及び研究室（ただし、募集を予定している研究室のみ）

専攻	研究室
森林・環境資源科学	土壌圏物質循環学 植物土壌システム 森林水文・砂防学 森林生態学 森林保護学 森林資源管理学 森林社会共生学 森林化学 循環資源利用学 木材物理学 木材工学 生物システム工学

植物生産科学	植物生理形態学 植物遺伝育種学 作物科学 園芸科学 植物病理学 植物免疫学 耕地情報利用 食料経済学 植物遺伝子機能 発生学・システム植物学 植物ゲノム育種 熱帯生物資源 生物遺伝情報 実践アフリカ開発 実践アジア開発
動物科学	動物遺伝育種学 ゲノム・エピゲノムダイナミクス 動物形態学 動物統合生理学 動物生殖科学 動物栄養科学 動物生産科学 鳥類バイオサイエンス 水圏動物学 資源昆虫学 害虫制御学
応用生命科学	生物有機化学 生物活性分子 天然物ケミカルバイオロジー 高分子生物材料化学 応用酵素学 分子生物工学 土壤生物化学 応用微生物学 食品機能化学 分子細胞制御学 分子生体制御学 糖鎖生命科学 動物細胞生理学 栄養生化学 食理神経科学 植物情報分子 生物化学 ゲノム情報機能学 植物細胞機能 植物統合生理学

4. 志望専攻及び研究室について

入学志願者は、出願の前に余裕を持って志望先の研究室へ研究内容等について必ず問い合わせてください。

志望専攻・研究室は、「3. 専攻及び研究室」から選択してください。（「研究内容及び教員一覧」も併せて参照してください。）

なお、第2志望の専攻・研究室はいずれの専攻・研究室を選んでも構いません。

5. 出願期間及び出願手続

次の(1)および(2)の両方の手続が必要です。

(1) インターネット出願システムでの出願登録と入学検定料の支払い

出願登録期間・検定料払込期間：2024年10月22日（火）から11月6日（水）

出願書類を提出する前に行ってください。

出願登録の方法は「7. インターネット出願の流れ」を、入学検定料については「8. 入学検定料の払込方法」を参照してください。

検定料の支払い期限は出願登録日を含め4日間*です。支払い期限内に入金がない場合、出願登録は自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください（キャンセルとなったときは再登録してください）。

* 検定料の払込締切日までの日数が4日間より短い場合は、払込締切日が優先されます。

(2) 出願書類の提出

郵送と窓口持参の二つの方法があります。いずれの場合も11月6日までにインターネット出願登録を完了しておいてください。未登録の場合、出願書類の提出はできません。

郵送の場合

2024年11月6日（水）から11月8日（金）（最終日消印有効）

出願書類を郵送する場合は、インターネット出願システムから出力される「出願用宛名用紙」をカラー

で印刷し封筒に貼りつけて、簡易書留郵便で出願期間内に送付してください。

受付期間最終日までの消印を有効とします。なお、海外から出願書類を郵送する場合、11月8日（金）必着とします（消印は考慮しない。）

また、「6. 出願書類」に不備がある場合、受理しません。

出願書類の郵送先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

窓口持参の場合

2024年11月6日（水）から11月8日（金）

受付時間：午前9時から午前11時30分まで、午後1時30分から午後4時まで

出願書類の提出にあたっては、インターネット出願システムから出力される「出願用宛名用紙」をカラーで印刷し封筒に貼りつけて、受付時間内に農学部・生命農学研究科 教務学生係に持参してください。また、「6. 出願書類」に不備がある場合、受理しません。

出願書類の持参先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

6. 出願書類

提出書類	○必須 △該当者は提出	
(1) 名古屋大学大学院志願票及び写真票	○	〔インターネット出願システムから出力されたものを、A4サイズで片面カラー印刷してください。〕 * 出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。
(2) 名古屋大学大学院生命農学研究科志願票	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成してください。
(3) 履歴書（外国人用）	△	日本国籍を有しない者のみ提出してください。ただし、日本の大学を卒業または卒業見込みの者は提出不要です。 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成してください。
(4) 成績証明書	○	学部（教養課程を含む）の成績を証明するもの * 日本語あるいは英語で書かれていない場合は、英訳版を添付してください。
(5) 学位証明書（卒業証明書あるいは卒業見込証明書）	○	学士の学位を取得した大学の卒業（見込）を証明するもの * 中国の大学を卒業した者が出願する際の注意事項 中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『教育部学生服务与素质发展中心（CSSD）』から発行される認証書「中国高等教育学位认证报告」を印刷し、他の出願書類とともに提出してください。 認証書発行に関する手続きの詳細については CSSD のホームページ（ https://www.chsi.com.cn/xlcx/en/ ）で確認してください。 発行に時間がかかるため、手続きは早めに行ってください。

(6) TOEFL, TOEICまたはIELTSのスコアシート	○	「9. 考査実施方法」の「(3) 外国語（英語）試験におけるスコアシートの提出」の指示に従って提出してください。
(7) 在留カードの写し（両面）	△	日本国籍を有しない者のみ提出してください。ただし、日本国永住許可を得ている者は不要です。
(8) 類型該当性の自己申告書*	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成してください。 詳細は、「*「(8) 類型該当性の自己申告書」の提出について」をご確認ください。

*「(8) 類型該当性の自己申告書」の提出について

経済産業省は2021年11月、「外国為替及び外国貿易法」（以下、外為法）に基づく「みなし輸出」管理の明確化を実施し、法令改正を行いました。

これによって大学における学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となることがあり、外国政府や外国の法人等の著しい影響下にある外国人、および邦人であっても外国政府等の強い影響下にある場合には、輸出許可申請が必要となります。

1) 大学院への出願時に「類型該当性の自己申告書」（様式1）を提出してください。

なお、様式1の自己申告で類型に該当する方は、以下の資料を併せて提出してください。

- ・外国政府・企業等の機関に雇用されている者：雇用証明書
- ・外国政府・企業等の機関から個人として受けとる研究資金や奨学金がある場合：奨学金の受給通知もしくは申請書など

2) 大学院入試合格時に「誓約書」を提出していただきます。

7. インターネット出願の流れ

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。
- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。
- ⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。
- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。
- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

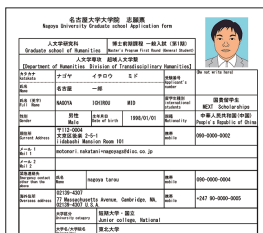


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれ
よりも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)
確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

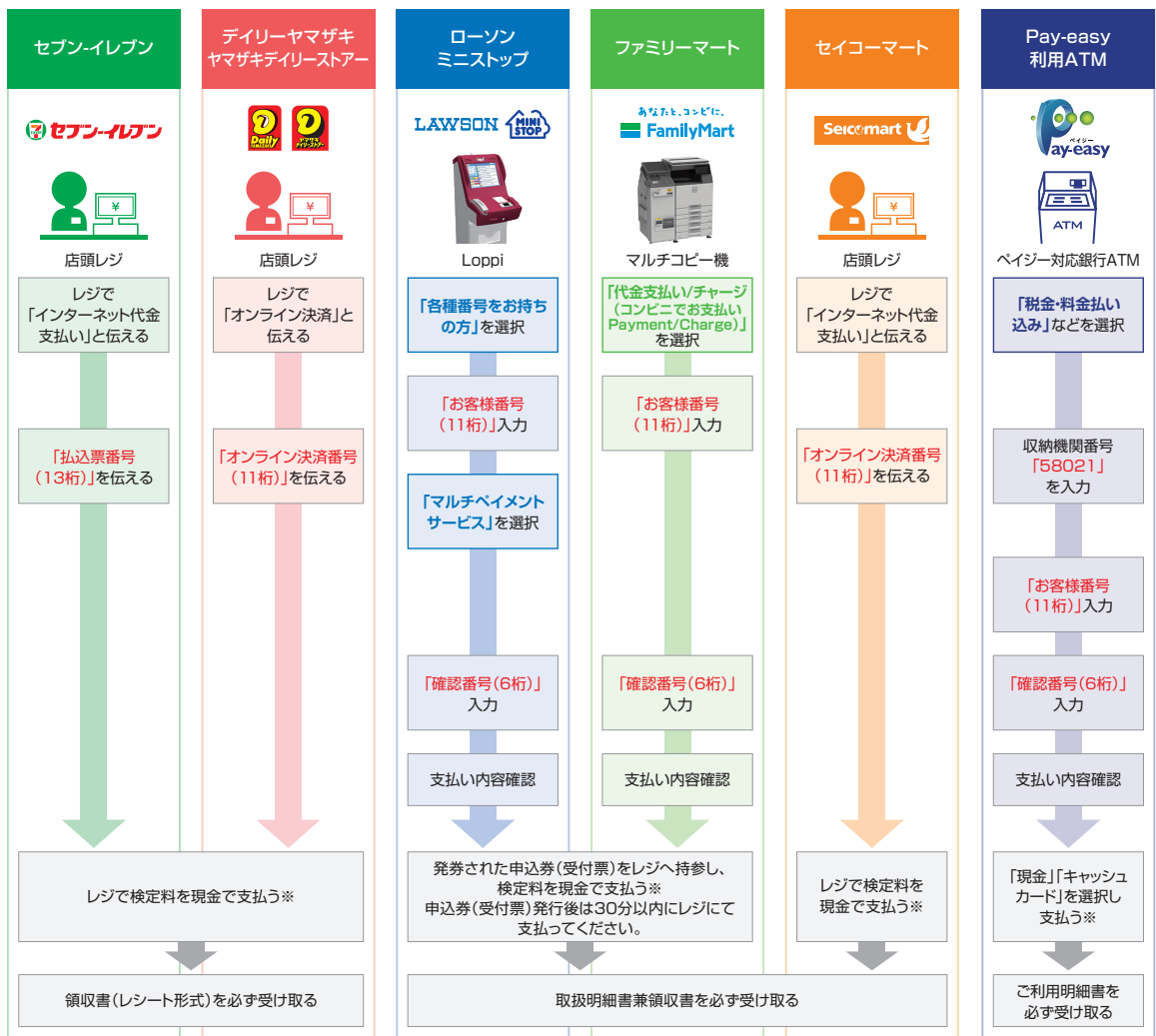
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6






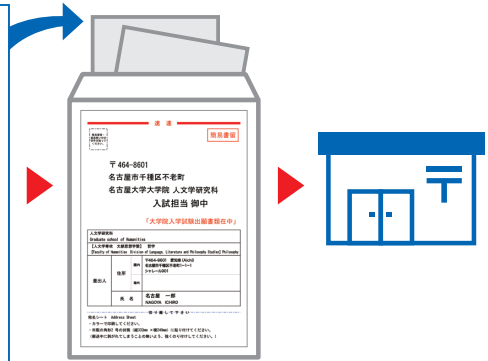
必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**簡易書留・速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類

▲ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類

- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類

- 出身大学等に発行を依頼する証明書




出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名:○○○○
入試:×××入試

8. 入学検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000円

検定料のほかに支払手数料（500円程度）が必要となります。

なお、誤って「検定料の免除について」を選択し、入学検定料を支払わずに出願した場合は受理しませんのでご注意ください。

(2) 払込期間（日本時間）*インターネット出願登録期間と同じです。

2024年10月22日（火）～11月6日（水）

(3) 払込方法

入学検定料の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。詳細は「7. インターネット出願の流れ」の「STEP 5（入学検定料の支払い）」を参照してください。

- ・クレジットカード
- ・ネットバンキング
- ・コンビニエンスストア
- ・Pay-easy対応銀行ATM

(4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還いたしません。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還します。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。

ア 入学検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※ 入学検定料の返還は銀行振込で行われます。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額が大きく減額される他、返還に多大な日数を要しますので、入学検定料の納入は慎重に行ってください。

返還請求方法については、名古屋大学ホームページ (<https://www.nagoya-u.ac.jp/>) →入学案内→大学院入試→入学検定料の返還について を確認してください。

9. 考査実施方法

(1) 筆記試験日時

科目	日	時	備 考
専門科目	1月7日(火)	10時00分から 13時00分まで	全専攻

(2) 筆記試験科目及び選択方法

専門科目

別紙「筆記試験科目及び選択方法（専門科目）」による。

(注) 出願時に申請した専門科目は変更できないので注意してください。

(3) 外国語（英語）試験におけるスコアシートの提出

外国語（英語）の試験については、TOEFL、TOEIC または IELTS のスコアによる判定を行う。

① 試験の方法

TOEFL、TOEIC または IELTS のいずれか1つのスコアシートを提出すること。筆記試験は実施しない。

TOEFL、TOEIC または IELTS の得点は以下の方法で算出したものを外国語得点として採用する。

■ TOEFL iBT を利用した場合：

英語得点 = 50 + (TOEFL iBT スコア - 50) × 5/3 （100点以上は100とする）

- TOEFL iBT Home Edition を利用した場合 :
英語得点 = $50 + (\text{TOEFL iBT Home Edition スコア} - 50) \times 5/3$ (100 点以上は 100 とする)
- TOEFL ITP を利用した場合 :
英語得点 = $\text{TOEFL ITP スコア} \times 0.34 - 108$ (100 点以上は 100 とする)
- TOEIC を利用した場合 :
英語得点 = $\text{TOEIC スコア} / 10$ (80 点以上は 80 点とする)
- TOEIC-IP を利用した場合 :
英語得点 = $\text{TOEIC-IP スコア} / 10$ (80 点以上は 80 点とする)
※TOEIC-IP オンラインは利用できません。
- IELTS(Academic Module) を利用した場合 :
英語得点 = IELTS オーバーオール・バンドスコア 6.0 以上は 100 点, 5.5 は 82 点, 5.0 は 68 点

※ ただし、換算された英語得点が 60 点未満の場合は不合格となる。 その場合でも検定料の返還は行わないので注意すること。

② 対象となるスコア

TOEFL iBT, TOEFL iBT Home Edition, TOEFL-ITP, TOEIC (Listening & Reading Testに限る) TOEIC-IP (Listening & Reading Testに限る) 及び IELTS(Academic Module)のいずれかの試験の成績を採用する。なお、留学生で TOEIC-PBT のスコアを有している者はあらかじめ教務学生係に相談すること。

③ スコアシートの提出

スコアシートは、出願期間内に提出してください。(それ以降の提出は受け付けません。なお、スコアシートの提出後の差し替えは一切認めません。)

- TOEFL iBT, TOEFL iBT Home Edition のスコアシートを提出する場合

以下の(1)と(2)の両方を提出してください。

(1)と(2)のいずれか一方でも期限に到着しなかったときは、スコアシートの提出はなかったものとして扱う。

(1) 公式スコア「Institutional Score Report」または「Official Score Report」

(2) 受験者に届く「Test Taker (Examinee) Score Report (コピー)」

なお、スコアシートを提出する際は、以下の点に留意すること。

- 1) 「Institutional Score Report」または「Official Score Report」は、出願期間内に ETS から名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。(手続き時に名古屋大学の Institution Code 0312, Department Code を適切に指定すること。適切な Department Code がない場合は、99 と指定すること。) なお、TOEFL の受験後「Institutional Score Report」または「Official Score Report」が指定送付先に到着するまでに 6~8 週間程度かかるとされている。到着が遅れる場合もあるので、十分な時間的余裕を持って TOEFL を受験すること。
- 2) 「Institutional Score Report」を提出する場合は、「Test Date Scores」のみを活用する。(My Best スコアは活用しない。)
- 3) 「Test Taker (Examinee) Score Report」のコピーを出願時に提出すること。

- TOEFL-ITP のスコアシートを提出する場合

「受験者用控え (薄紫色のカード)」の原本を出願時に提出すること。

- TOEIC のスコアシートを提出する場合

「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本を出願時に提出すること。

デジタル公式認定証を利用する場合は、PDF を印刷したものを提出すること。

■ TOEIC-IP のスコアシートを提出する場合

「スコアレポート（個人成績表）」の原本を出願時に提出すること。
※TOEIC-IP オンラインのスコアは利用できません。

■ IELTS (Academic Module) のスコアシートを提出する場合

「Test Report Form」の原本を出願時に提出すること。

④ スコアシートの有効期限

入学試験実施日から過去 2 年以内（2023 年 1 月 7 日以降）に実施され、出願時に提出可能なものを有効とする。

TOEIC「Official Score Certificate」（公式認定証）の返却は行わないので注意すること。

(4) 試験場

名古屋大学大学院生命農学研究科（農学部）

市バス「名古屋大学」、地下鉄「名古屋大学」駅下車、又は地下鉄「東山公園」駅下車南へ 500 m

(5) 第 1 次合格者発表

1 月 7 日(火)18 時頃、生命農学研究科ホームページ (<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>) に掲載する。第 1 次合格者については、口述試験を行う。

(6) 口述試験

1 月 8 日(水)9 時から各専攻別に第 1 志望の口述試験を行う。

第 2 志望研究室の口述試験が必要と判定された者に対し、1 月 8 日(水)15 時から各専攻別に第 2 志望の研究室を中心に行います。なお、該当者については、1 月 8 日(水)14 時頃生命農学研究科ホームページ (<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>) に掲載します。

10. 合格者発表

2025 年 1 月 10 日(金)午前 10 時頃、生命農学研究科ホームページ (<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>) に掲載します。後日郵送にて本人あて通知します。

11. 入学手続

(1) 入学手続の詳細は、2025 年 3 月初旬までに本人あて通知します。

(2) 入 学 料 282,000 円 (予定額)

(3) 授 業 料 前期分 267,900 円 (予定額)
 (年 額 535,800 円 (予定額))

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学手続日は、2025 年 3 月 12 日(水)の予定です。

12. 注意事項

- (1) 出願手続後の書類の書き換え及び検定料の払い戻しはできません。
- (2) 考査実施の詳細は、試験当日掲示します。受験者は試験開始 20 分前までに試験室に入室してください。
- (3) 入学試験結果の開示対象は、本入学試験に不合格となった者とします。試験後の 2 週間～2 か月以内に請求してください。開示手続きの詳細は、名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係 (kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp) にメールでお問い合わせください。
- (4) 障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者は、2024 年 9 月 20 日(金)までに、次の 3 点を農学部・生命農学研究科 教務学生係へ提出してください。
 - 1) 受験上の配慮申請書(障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式随意、A4 サイズ)
 - 2) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等(写し可)。
 - 3) 障害等の状況を知っている第 3 者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。
 - 4) 適宜それ以外の書類を添付しても構いません。

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、出願期限までにお問い合わせください。

13. その他


入学試験についての照会先 ※必ずメールでお問い合わせください。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係
E-mail : kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp

2024 年 8 月

名古屋大学大学院生命農学研究科
<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

筆記試験科目及び選択方法（専門科目）

専 門 科 目	内 容 と 選 択 方 法
1 応 用 数 学	<p><内容></p> <p>専門科目の内容については生命農学研究科のホームページを参照すること。 https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/</p>  <p>専門科目（1～24）の中から2科目選択すること。</p> <p>注：応用生命科学専攻で<u>下記研究室を志望する者は、</u> <u>専門科目（3, 4, 5, 7, 18）の中から2科目選択することが望ましい。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物有機化学 ・生物活性分子 ・食品機能化学 ・高分子生物材料化学
2 材 料 力 学	
3 物 理 化 学	
4 有 機 化 学	
5 生 物 化 学	
6 遺 伝 学	
7 微 生 物 学	
8 細 胞 生 物 学	
9 植 物 生 理 学	
10 動 物 生 理 学	
11 動 物 形 態 学	
12 昆 虫 科 学	
13 生 態 学	
14 水 文 学	
15 土 壌 学	
16 森 林 資 源 学	
17 バイオマス科学	
18 天然高分子化学	
19 植物生産科学	
20 動物生産科学	
21 水産動物学	
22 植物保護学	
23 食料経済学	
24 国 際 農 学	

「名古屋大学大学院生命農学研究科志願票」に受験予定専門科目を記入すること。
 出願時に申請した専門科目は変更できないので注意してください。

研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
1 森林・ 環境資源 科学	1 土壌圏物質循環学	土壌圏を中心とした環境中における炭素、窒素、微量元素の循環、土壌有機物特に腐植物質の構造・機能・動態に関する研究。	渡邊 彰			
	2 植物土壌システム	植物、土壌、微生物の三者間の相互作用を解明することにより、森林生態系(とくに人工林)の持続性、健全性を検証する研究。		谷川東子		
	3 森林水文・砂防学	森林を主体とした地域や流域スケールでの水循環や土砂動態の解明とともに、自然と社会の多様なスケールでの持続的資源管理を可能とする研究とその社会実装。	五味 高志	小谷 亜由美		
	4 森林生態学	森林生態学、森林遺伝学、森林生態生理学に関する広範な研究。特に、樹木群集の構造、動態、機能および樹木個体群の遺伝的多様性、繁殖生態、生態生理、物質生産に関する研究。	戸丸 信弘	中川 弥智子		
	5 森林保護学	森林や里山など緑域環境における生物群集の存在様式や生物間相互作用、生態系保全に関する研究。	梶村 恒		土岐和多瑠	
	6 森林資源管理学	森林の先端的計測技術の開発、森林資源管理に関わる理論の構築、森林の将来計画立案とその評価手法の開発に関する研究。	山本 一清			
	7 森林社会共生学	森林保全と地域住民の生計向上をめざした森林管理政策、森林認証制度、参加型森林管理、コミュニティフォレストリーや、木材・木材製品をめぐる企業の原木調達戦略に関する研究。	原田 一宏	岩永 青史		
	8 森林化学	木質系バイオマスの形成過程とその構造、および高度利用に関する有機化学的、生化学的、分析化学的な研究。	福島 和彦	青木 弾		
	9 循環資源利用学	樹木抽出成分の単離・構造決定、生合成、分布および利用に関する研究。		今井 貴規		
	10 木材物理学	樹木の成長過程と成長応力及び材質発現機構、熱帯造林樹種の成長と木部成熟特性、木質形成の分子生物学、生物材料の水分・熱および力学特性。	山本 浩之	吉田 正人		王 晗
	11 木材工学	木材・木質材料の構造利用における力学的耐久性、木質構造の力学挙動解析、森林資源の材質分布と需給計画、木質による都市環境デザインなどに関する研究。	山崎 真理子			安藤 幸世
	12 生物システム工学	生物資源を対象とした非破壊計測システムおよびデータサイエンスに関する研究。	土川 覚	稲垣 哲也		馬 特

*** 特任助教

(2024年10月1日現在)

研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
2 植物生産科学	13 植物生理形態学	植物細胞・組織の機能分化や環境ストレスに対する応答・耐性について、構造と機能の両面からの理解を図り、作物をはじめとする様々な有用植物の生理機能解明とその応用展開を行う。	谷口 光隆	三屋 史朗		
	14 植物遺伝育種学	栽培植物の系統分化、形態形成、発生および環境ストレス耐性に関する遺伝育種学的、分子遺伝学的、分子生物学的、および生理学的研究	中園 幹生	高橋 宏和		縣 歩美
	15 作物科学	作物の光合成や光・水・養分などの資源獲得に関する生理・生態特性の解析、および新規の計測手法開発を通じて、作物生産とその持続性向上を目指した研究を展開する。	近藤 始彦	矢野 勝也	杉浦 大輔	
	16 園芸科学	果樹、野菜、花きなどの園芸作物の品質と生産性を向上するためのバイオテクノロジーおよび生理学・生化学・分子生物学的研究。特に、果実や花の形質をに関わる、遺伝子組換えやゲノム編集などの分子育種、マルチオミクス、メタボローム解析とメタボリックエンジニアリング。		白武 勝裕		
	17 植物病理学	植物病原体の感染に対する植物の生体防御機構、植物病原体と有用微生物と植物の相互作用に関する生理学・生化学・分子生物学的研究。それらの成果を基盤とした生物防除法の開発に関する研究。	竹本 大吾	千葉 壮太郎		佐藤 育男
	18 植物免疫学	植物病原菌や害虫との相互作用で誘導される植物免疫の分子機構に関する研究。このメカニズムに基づく植物ワクチンの開発。		吉岡 博文		
	19 耕地情報利用	作物の遺伝情報、形態、生理特性、生産物の収量や品質、土壌や気象等の生育条件等の様々な情報を収集し、それらの関係性を情報学的手法で解析することで有益な情報を抽出し、品種改良や栽培管理の改善を通じて作物生産を向上させるための研究	村瀬 潤	土井 一行		西内 俊策 沢田 ござえ***
	20 食料経済学	食料・農業問題、地域資源管理、農業の多面的機能等に関する社会科学的小および学際的研究。	徳田 博美	竹下 広宣		三浦 聡
	21 植物遺伝子機能	植物の遺伝子機能を明らかにする研究およびその利用に関する研究。	芦苺 基行	保浦 徳昇*		永井 啓祐
	22 発生学・システム植物学	高精細イメージングと多階層オミクスを駆使して花と根の発生をシステムとして理解する。フロリゲンの分子機能解明。植物成長と環境適応を支える根の組織構造の解明。	辻 寛之	山内 卓樹		
	23 植物ゲノム育種	環境・エネルギー・食の問題など、現代社会の課題解決を目指し、作物ゲノムビッグデータを活用しつつ、基礎研究から社会実装を見据えた応用研究まで一貫貫型の先駆的育種学研究を展開する。	佐塚 隆志			岡田 聡史
	24 生物産業創出	植物資源の価値化・保全へ向けた、接ぎ木、植物の全身性シグナル伝達メカニズムを中心とする基礎から応用までの研究。	野田口 理孝	黒谷 賢一* 笠原 竜四郎*		
	25 熱帯生物資源	熱帯地域の持続的可能な農業開発を目指し、世界の食需要の多様化や気候変動(乾燥、塩害、洪水)に対応するための熱帯原産農林資源(イネ、リョクトウ、サゴヤシ等)の探索と形質評価、ならびに低温プラズマの農業活用を行う。	江原 宏			仲田 麻奈
	26 生物遺伝情報	気候変動下での安定的な作物生産を目指し、生物資源の有用形質遺伝情報の抽出・利用に関する研究を行う。	犬飼 義明			
27 実践アフリカ開発	アフリカの作物生産の向上と安定化に貢献するため、作物遺伝資源の環境応答や栽培技術開発に関する研究に取り組み、研究成果に基づく社会実装の実現を目指す。		槇原 大悟			
28 実践アジア開発	アジアの熱帯地域における持続的な適正農林業生産技術の開発、新資源・技術の馴化と普及を図り、研究成果に基づく社会実装を実現することを目指す。		伊藤 香純			

* 特任准教授
** 特任講師
*** 特任助教

(2024年10月1日現在)

研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
3 動物科学	29 動物遺伝育種学	哺乳類および鳥類における様々な質的形質と量的形質の遺伝的基盤に関する研究、ゲノム編集等の発生物学を用いる動物の進化遺伝学研究、動物遺伝資源の評価と保全・利用に関する研究、ヒト疾患および生物機能研究用モデル実験動物の開発・育成に関する研究。	隅山 健太	石川 明		山縣 高宏 田邊 彰
	30 ゲノム・エピゲノムダイナミクス	脊椎動物や昆虫におけるトランスポゾンや遺伝子のエピジェネティック制御機構の研究。生殖細胞形成期のエピゲノム制御機構の研究。種間および種内でのエピゲノムやゲノムの比較解析を通じた、ゲノムとエピゲノムの相互作用に関する研究。トランスポソンの活性化によるがん細胞増殖抑制機構の研究。	一柳 健司			大谷 仁志
	31 動物形態学	脊椎動物における形成と変形に関わる研究。脊椎動物におけるウイルスの内在化および内在化ウイルスの役割。Transgenerational epigenetic inheritance (TEI)。	本道 栄一			飯田 敦夫
	32 動物統合生理学	脊椎動物(哺乳類、鳥類、魚類)の季節適応機構と概日時計機構の解明。季節繁殖や概日時計の制御を通じた動物生産性の向上とヒトの健康の増進に関する研究。ニワトリにおける成長制御と成長因子発現調節に関わる研究。	吉村 崇	大川 妙子	金 尚宏**	塚田 光 中山 友哉***
	33 動物生殖科学	哺乳類の生殖機能制御を担う神経内分泌学的な基礎研究と、そのメカニズムを利用した畜産や創薬への応用研究。		上野山 賀久 井上 直子		
	34 動物栄養科学	鳥類と哺乳類における栄養素(アミノ酸やビタミンCなど)の代謝機構と、それらの代謝産物が持つ生理機能の探索。鳥類の卵に含まれる生体分子の取り込み機構の解明とその仕組みを利用した有用タンパク質生産への応用。	村井 篤嗣			古川 恭平
	35 動物生産科学	反芻家畜の繁殖生理機能の調節機序に関する基礎研究とその機能を利用した動物生産にかかわる応用研究。	大蔵 聡	松山 秀一 中村 翔*		
	36 鳥類バイオサイエンス	鳥類有用遺伝形質を利用した遺伝学・分子細胞生物学。鳥類遺伝子改変技術の作出と医薬品生産を目指した利用。	西島 謙一			奥寺 雄也
	37 水圏動物学	水産動物の神経系、感覚器、運動器に関する形態学的、生理・生態学的、進化行動学的研究、ならびにペプチドニューロンによる感覚・神経系～行動の持続的制御に関する神経生理学的研究。	山本 直之	阿部 秀樹		後藤 麻木 萩尾 華子***
	38 資源昆虫学	昆虫ウイルスの増殖機構とウイルスと宿主昆虫との相互作用、昆虫の抗ウイルス応答機構についての研究。	池田 素子			浜島 りな
39 害虫制御学	生理生化学・分子生物学・化学的アプローチを通じた害虫の生態解明および制御法開発に関する研究。		水口 智江可		三高 雄希	

* 特任准教授

** 特任講師

*** 特任助教

(2024年10月1日現在)

研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
4 応用生命科学	40 生物有機化学	特異な化学構造と生物活性を示す天然有機化合物の生物有機化学的研究:新しい有機合成反応・合成方法論の開発,天然有機化合物の全合成研究と生物機能の解析・制御に関する研究。	西川 俊夫			宮坂 忠親
	41 生物活性分子	植物や微生物などが生産する生物活性分子の同定、作用機構、応用に関する研究。糖鎖に結合する低分子化合物の分子認識メカニズムの解析と応用研究。		中川 優	近藤 竜彦	
	42 天然物ケミカルバイオロジー	生物現象を司る天然物の単離、構造決定、合成、生合成、および作用機序に関する研究。哺乳動物由来の麻痺性神経毒や、海洋生物の共生現象鍵物質に関する研究。蛍光プローブを用いた新たな標的分子の解析法の開発。	北 将樹	恒松 雄太		井上 貴斗
	43 高分子生物材料化学	糖鎖高分子、生物機能高分子、生分解性高分子、植物由来高分子およびこれらを活用した医用高分子の設計、精密合成、機能発現に関する研究。生物学的機能を有するバイオマテリアルの創出。	青井 啓悟	野村 信嘉		
	44 応用酵素学	フラビン酵素やピリドキサル酵素の構造機能相関。イソプレノイドやアミノ酸、ビタミンの生理作用と代謝関連酵素に関する研究。微生物や酵素を用いた有用物質生産に関する研究。古細菌の脂質合成に関する研究。	邊見 久	伊藤 智和		
	45 分子生物学	新規な生物機能分子、生物反応プロセス、解析システムを創成することを目的とした生物工学的研究を行っています。現在、新規モノクローナル抗体スクリーニング、一分子スクリーニング技術を用いたタンパク質工学、翻訳促進配列のメカニズム解明などが主要な研究テーマとなっています。	中野 秀雄	COROVIC Jasmina		加藤 晃代
	46 土壌生物化学	水田生態系各部位に生息する生物群集の構造・特性と機能および生物間の相互作用に関する研究。	浅川 晋	渡邊 健史		新庄 莉奈
	47 応用微生物学	食品の製造や植物の病気に関わるカビを題材として、化学、生化学、分子遺伝学的なアプローチから物質生産とその制御機構に関する基盤研究を進めている。また、微生物の機能を活かし、食資源活用や健康増進への貢献を目指した応用研究も行なっている。	木村 眞			前田 一行
	48 食品機能化学	食と健康をキーワードとした基礎研究、特に生活習慣病に関連した内因性因子としての酸化ストレス、及び外因性環境因子としての機能性食品に関する研究。	柴田 貴広			中島 史恵
	49 分子細胞制御学	健康寿命の延伸に資する、ヒトを含む動物細胞の増殖・成長・分化・細胞死における情報伝達や細胞内輸送、細胞外分泌、遺伝子発現制御に関する生化学的および分子細胞生物学的研究。	柴田 秀樹		高原 照直	
	50 分子生体制御学	哺乳類におけるタンパク質、核酸とこれら複合体の生合成および生体内での動態、ならびに上記分子の細胞増殖・組織分化を含む生体における作用および制御機構を生化学・分子細胞生物学的に研究しています。乳腺発達と乳汁産生、リボソームを含む翻訳制御機構、および生理活性成分への上反応が主な研究対象です。		灘野 大太		大島 健司
	51 糖鎖生命科学	真核生物における糖鎖の役割の理解と制御を通じて、よりよい健康、環境、食を目指した農医薬融合研究を行っています。現在は主に精神疾患や癌をターゲットとしています。	佐藤 ちひろ			羽根 正弥 呉 迪****
	52 動物細胞生理学	真核生物における膜輸送体タンパク質、細胞外マトリックスタンパク質の生理機能と情報伝達に関する研究。		MATURANA Andrés Daniel	新美 友章	
	53 栄養生化学	栄養素(主にタンパク質・アミノ酸)による酵素および遺伝子発現の制御機構。3次元培養による臓器特異的遺伝子発現の制御機構に関する研究。肝臓の概日リズムのメカニズムと時間栄養学。		小田 裕昭		
	54 食理神経科学	ヒトを含む雑食性の動物は様々な食物を味覚や嗅覚などを用いて評価・選択した後に摂取します。本研究室の研究テーマはその基準の基盤となる神経メカニズムの解明です。	中島 健一朗			RATTANAJEARA KUL, Nawarat*** 塩谷 和基
	55 植物情報分子	栄養環境の変化にตอบสนองした植物の成長制御について、それに関わる情報分子の同定や生合成、輸送のしくみを分子レベルで解明することを目指した研究を行なっている。	榊原 均	木羽 隆敏	橋本(杉本) 美海	BELLEGARDE, Fanny***
	56 生物化学	花・花粉・根など植物の各器官の分化を引き起こす遺伝子の働きについて、生化学的・分子生物学的・分子遺伝学的・形態学的な手法を用いて研究している。また、高等植物とシアノバクテリアの光合成や無機栄養素同化を支える膜タンパク質の機能とその制御機構を研究している。		石黒 澄衛		前尾 健一郎 前田 真一 中西 洋一
	57 ゲノム情報機能学	クロロフィル生合成、窒素固定・概日リズム・ホルモン情報伝達の調節機構に関する研究を、主としてシアノバクテリア・植物を材料として、生化学的、細胞分子生物学的、分子遺伝学的観点から行っている。シアノバクテリアを用いた研究室進化実験も行っている。	藤田 祐一	山篠 貴史		山本 治樹
	58 植物細胞機能	高等植物の成長・分化制御とその環境情報応答に関する研究。植物細胞における人工的な非膜系オルガネラの構築に関する研究。		上口 智治 武田 真		
59 植物統合生理学	内的・外的環境の周期的な変化を感知し、植物が自らの生理現象を秩序立てる仕組みを、主に分子遺伝学・生化学・マルチオミクス研究によって、分子から個体レベルでの秩序の形成や維持の仕組みの解明を目指す。またこの知見を基盤とした植物の生産性の向上に資する技術開発にも取り組む。	中道 範人			村中 智明	

**特任講師
***特任助教
****センター助教

(2024年10月1日現在)

The following provides information to applicants on admissions to the Master's Program, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, beginning in April 2024

1. Requirements for applicants:

Applicants must have obtained official approval to study in Japan under the Japanese Immigration Control Law*¹, and must satisfy one of the following requirements by the day prior to the day of enrollment:

*Excluding those who have passed the entrance examination for the Master's Program of the Graduate School in 2025, which will be held in the fiscal year 2024.

- (1) Applicants who have graduated from a Japanese university or college.
- (2) Applicants who have been awarded a bachelor's degree from the National institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education.
- (3) Applicants who have completed the 16-year course of formal education in their country.
- (4) Applicants who have completed the 16-year course of formal education in Japan via an online curriculum offered by a foreign school.
- (5) Applicants who have completed in Japan one of the relevant courses at an educational institution that is recognized by the authorities of a foreign country as an institution offering undergraduate courses to finish the 16-year course of formal education of the country and is approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan.
- (6) Applicants who have completed at least 3 years of study at a foreign university and earned a bachelor's degree.
- (7) Applicants who have completed their studies at a designated vocational school (according to MEXT's list of designated vocational schools).
- (8) Applicants who completed their studies at a school under Japan's old education system.
- (9) Applicants who have completed in Japan one of the relevant courses at an educational institution that is recognized by the authorities of a foreign country as an institution offering undergraduate courses to finish the 15-year course of formal education of the country and is approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan. It needs to be recognized by this Graduate School that the applicants have earned the necessary credits with satisfactory grades.

NOTE: Applicants must ask the Student Affairs Section for the details and submit the required documents by or on September 20, 2024.

- (10) Applicants who are recognized by the Graduate School to be equivalent in academic level to those graduating from a Japanese university.

NOTE: Applicants must ask the Student Affairs Section for the details and submit the required documents by or on September 20, 2024.

*¹: Applicants who have not obtained official approval by the time of application must obtain official approval before starting enrollment procedures.

2. Maximum number of Enrollment: A several

3. Academic Department/Laboratory offering master's program

Department	Laboratory
Forest and Environmental Resources Sciences	Resources Cycling in Pedosphere, Plant-Soil Systems, Forest Hydrology and Disaster Mitigation Science, Forest Ecology, Forest Protection, Forest Resource Management, Forest Resources and Society, Forest Chemistry, Biomass Resource Utilization, Wood Physics, Timber Engineering, System Engineering for Biology
Plant Production Sciences	Plant Physiology and Morphology, Plant Genetics and Breeding, Crop Science, Horticultural Science, Plant Pathology, Plant Immunology, Information Sciences in Agricultural Lands, Food Economics, Plant Gene Function, Agrigenome, Plant Genomics and Breeding, Tropical Bioresources, Genetic Information for Bioresources, Practical Studies in Africa, Practical Studies in Asia
Animal Sciences	Animal Genetics and Breeding, Genome and Epigenome Dynamics, Animal Morphology, Animal Integrative Physiology, Animal Reproduction, Animal Nutrition, Animal Production Science, Avian Bioscience, Fish Biology, Sericulture and Entomoresources, Applied Entomology
Applied Biosciences	Organic Chemistry, Bioactive Molecules, Chemical Biology of Natural Products, Polymer Chemistry, Applied Enzymology, Molecular Biotechnology, Soil Biology and Chemistry, Applied Microbiology, Food and Biodynamics, Molecular and Cellular Regulation, Molecular Bioregulation, Glyco-Life Science, Animal Cell Physiology, Nutritional Biochemistry, Alimentary Neuroscience, Plant Signaling, Biochemistry, Molecular and Functional Genomics, Plant Cell Function, Plant Integrative Physiology

4. Department/ Laboratory selection of applicants

Applicants are allowed to make two choices.

Applicants must ask the Laboratory in which he/she wishes to study for study topics well in advance before application.

(1) The applicant's field of study must be chosen for the first choice of department/Laboratory.

NOTE: See "Laboratories, Areas of Research, and Staff."

(2) The second choice can be among any department or laboratories.

5. Application Periods and Procedures

Both of the following procedures (1) and (2) are required.

(1) Register for Online Application System and Payment of Entrance Examination Fee.

Online Application and Payment Periods : October 22 to November 6, 2024

Please complete this step before submitting documents.

For more information, see section 7. and section 8.

The application procedure is only complete when the application documents arrive at the Graduate

School. Registration and application fee payment with the online application system alone does not complete the application procedures.

The entrance examination fee payment must be completed within 4 days from the day of registration. If a payment is not made within the period, the application registration will be automatically cancelled. (Please re-register if your registration is cancelled)

*If the payment deadline is in less than 4 days, the payment deadline will be prioritized.

(2) Submitting Documents for Application

Applicants can submit the application documents in two ways: by mail or by hand. In both cases, the online application registration must be completed by 6 November. You cannot submit your application document without prior online registration.

When Submitting Documents by mail

Application Periods: November 6 to November 8, 2024

When submitting application documents by mail, please print out the “Address Sheet” in color via the online application system, attach it to an envelope, and send it so it arrives by the application deadline via simple registered express mail.

* If the application documents are mailed from overseas, they must arrive no later than Friday, November 8 (postmarks will not be considered).

Address: Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601

When Submitting Documents by hand

Application Periods: November 6 to November 8, 2024

Open from 9:00 a.m. till 11:30 a.m. and from 1:30 to 4:00 p.m. (JST)

When submitting application documents by hand, please print out the “Address Sheet” in color via the online application system, attach it to an envelope, and bring it to the Student Affairs Section of Graduate School of Bioagricultural Sciences during the reception hours.

Address: Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601

6. Required documents for application

(1) Nagoya University Graduate School Application Form/ Photograph Card	The application form and photograph card must be printed in color on a single-sided sheet of A4 sized paper from the online application system. * The applicant must prepare and upload a portrait photo, that is front facing, includes the upper body, no hats or backgrounds, and has been taken within 3 months of the application.
(2) Application Form (Graduate School of Bioagricultural Sciences)	Download and fill out the prescribed form from the Graduate School website.
(3) Personal History for Foreign Applicants	Needed only for applicants who are of non-Japanese nationality, excluding those who graduated from or are expected to graduate

	from Japanese universities. Download and fill out the prescribed form from the Graduate School website.
(4) Academic Transcripts	The original copy of official transcript from the undergraduate school (including liberal arts) the applicants has attended. * If they are not written in Japanese or English, please attach an English translation version.
(5) Certificate of (Prospective) Graduation	Diploma or certificate of graduation or expected graduation from a university. * Applicants who have graduated from a university in China , should print the certificate issued by the Center for Student Services and Development (CSSD) and submit it along with other application documents. The details of this process can be checked on the CSSD website (https://www.chsi.com.cn/xlcx/en/). The issuance of certificates may take time, so applicants should start the process early.
(6) TOEFL or TOEIC or IELTS Score Sheet	See “ 9. Examinations ”, Item (3) “Submission of score sheets for foreign language (English) examination” for details.
(7) A Photo Copy of Residence Card (both sides)	Needed only for applicants without Japanese nationality, excluding those with official approval of permanent residency in Japan.
(8) Declaration of Applicable Specific Categories*	Download and fill out the prescribed form from the Graduate School website. If you fall into one of the following categories, please submit the relevant evidence. For details, please refer to *Regarding submission of “(8) Declaration of applicable specific categories”.

*Regarding submission of “(8) Declaration of applicable specific categories”

In November 2021, in accordance with the clarification of the scope of control for “Deemed Exports” under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (“FEFTA”), some provision of sensitive technology to students by universities has become subject to control under the FEFTA.

- 1) Please submit a “Declaration of applicable specific categories” when applying to our graduate program. Please also submit the relevant evidence if you fall into one of the Categories 1 to 3.
 - employed by a foreign government/corporation: proof of employment
 - receiving scholarship from a foreign government/corporation: notice of scholarship award or application form
- 2) Students will also be required to submit a “Letter of confirmation” at the time of their admission.

7. Online Application Flow

Web Application Flow

The web application flow is as follows.



STEP
1

Preparation

Prepare a computer and printer connected to internet (smartphone and tablet are not recommended).

Prepare *required documents well in advance before application since it may take time to obtain them.

*Required documents: ID photo data, certificates etc.
For details, please check [the application guidelines](#) for the graduate schools you wish to enter.

(Photo data)

STEP
2

Access the Application Site

From the application site ▶ <https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>

STEP
3

MyPage Registration

Follow the instructions on the screen to enter the required information and register for MyPage. If you have already registered MyPage, please proceed to STEP4.

- ① If you register MyPage for the first time, please login from [My Page registration](#).
- ② Register your email address and click [Submit a temporary registration e-mail](#).
- ③ Click [Go to Login](#).
- ④ The initial password and URL for main registration will be sent to the e-mail address.
* Please check your e-mail settings as well to ensure that you are able to receive e-mails from @e-apply.jp domain.
- ⑤ On the login screen, enter the registered e-mail address and the "initial password" you received in ④, and click [Login](#).
- ⑥ Change from the initial password to new password.
- ⑦ Enter the required personal information and click [Next](#).
- ⑧ Confirm the personal information you entered and click [To register in this content](#).



⑨ Registration is completed. Click **To My Page**.



⑩ When the above is displayed, MyPage registration is complete.

⑪ During the application period, click **Carry out the application procedure** to continue the application procedure. Outside of specified periods, you cannot proceed any further, so click **Log out** to logout.

STEP

4

Register the Application forms

Make sure to confirm to procedures and notes on the screen page, and enter required information.



① Login to MyPage and click **Carry out the application procedure**, then go to the registration screen.



② Select your graduate school.



③ Select the entrance exam to take and read the important notes.



④ Choose which major to apply for.



⑤ Upload ID photo data and click **To choose photo** to select a photo.



⑥ Enter the required personal information.



⑦ Confirm application form. You can check the application form by clicking **Application Form (sample)**.



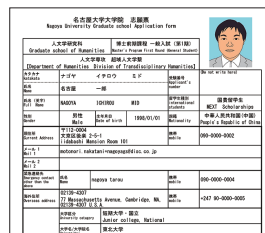
⑧ Application registration is completed. Click **Continue to pay** to proceed the examination fee payment screen.



Payment is due within 4 days including the date of application. However, if the Web application deadline falls earlier than that, the payment deadline will be the Web application deadline.

⑨ How to pay the examination fee

- Convenience stores*
- ATMs with Pay easy*
- Internet banking*
- Credit card
- * Only available in Japan



⑩ PDF documents are required for application (image).

⑪ Printing will be available after payment of the examination fee. These are required to submit as well as required documents.

If you choose to pay the examination fee at a convenience store or a bank ATM that supports Pay-easy, please make sure to write down the necessary payment number displayed after selecting the payment method, and pay the fee at a convenience store or bank ATM within the notified payment deadline.

At Seven Eleven

Payment slip number (13 digits)																			
---------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

At Lawson, Mini Stop, FamilyMart, ATMs with Pay-easy

Customer number (11 digits)																			
Confirmation number (6 digits)																			

At Daily Yamazaki, SeicoMart

Online settlement number (11 digits)																			
--------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

receiving institute number (5 digits)	5	8	0	2	1	At ATMs with Pay-easy
---------------------------------------	---	---	---	---	---	-----------------------

A confirmation e-mail will be sent to you after you have completed the registration of your application. If you have set restrictions on receiving e-mails, please allow the sender (@e-apply.jp).
*Please note that the confirmation email may be sent to your junk folder.



After the examination fee has been paid, you will not be able to correct your application contents. Please check your application contents before paying the examination fee. If there are any errors, please register again from Step 3.

*Please note that if you select credit card 24n "⑨How to pay the examination fee", the payment will be completed at the same time as registration.

STEP

5



Pay the examination fee

1 Paying with a credit card

You can select and pay during the Web application.

[Credit cards available for the payment]

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFG, DC, UFJ, NICOS



The payment can be completed during the Web application.

2 Paying by internet banking

(Only in Japan)

After your Web application is registered, the page will shift to the site of the bank you chose. Make the payment as instructed on the screen.

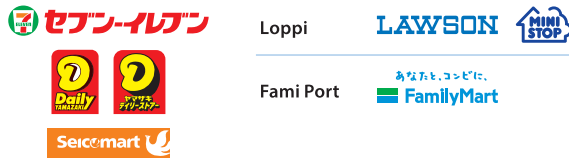
*Required your bank account is registered for internet banking.

The payment can be completed online.

3 Paying at convenience stores (Only in Japan)

Write down the number displayed after your Web application is registered, and pay at any one of the following convenience stores.

- Pay at the cashier
- Pay using the terminal



4 Paying at ATMs with Pay-easy option

(Only in Japan)

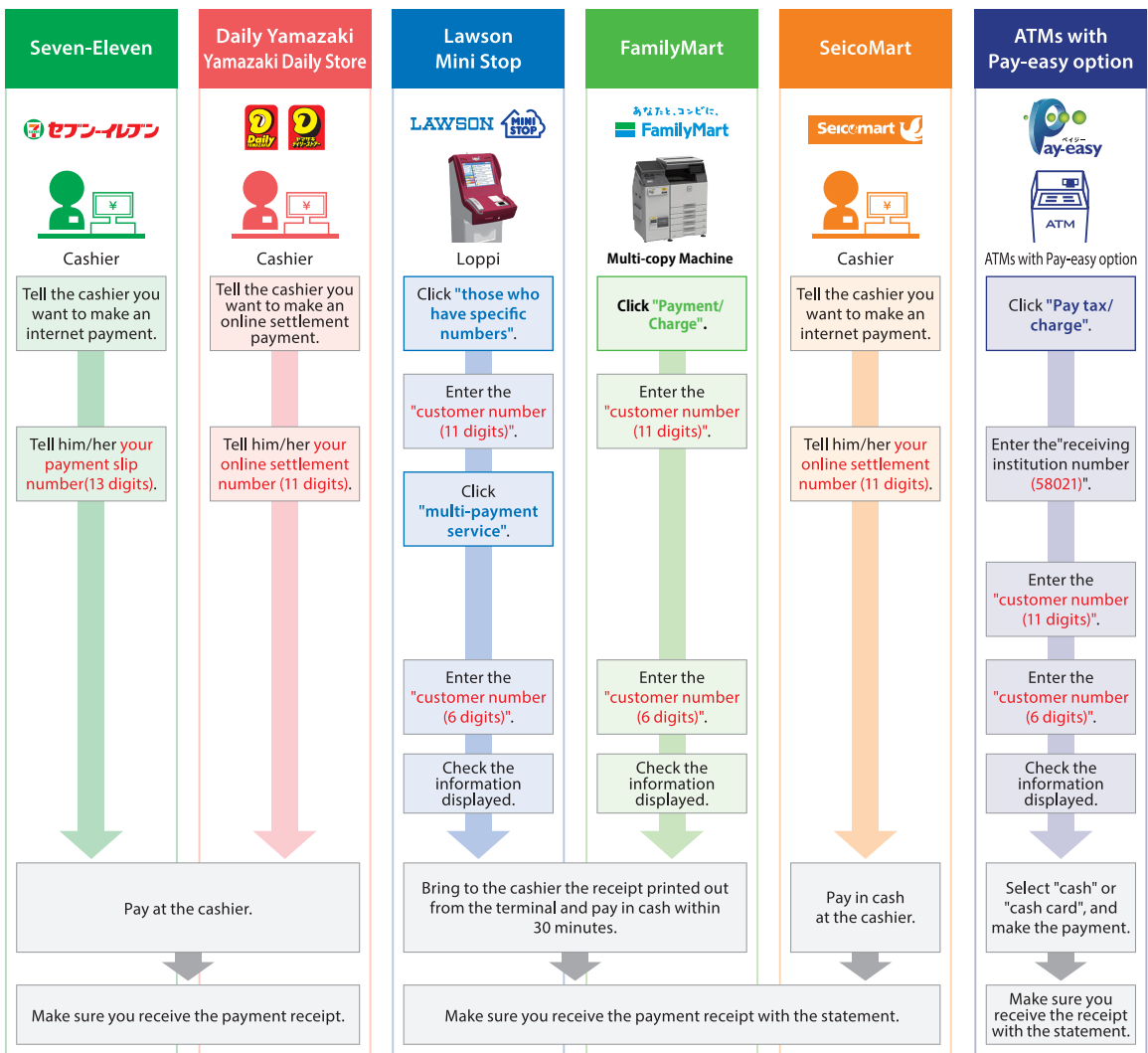
Write down the number displayed after your Web application is registered, and pay at any one of the ATMs with Pay-easy option as instructed on the screen.



*Banks with Pay-easy option can be checked on the [Selection of Payment Method] page.

Enter necessary information as instructed on the screen of the terminal or ATM, check the information displayed, and make the payment.

3 Convenience stores



STEP

6



Send Required Documents by Post

Print the documents downloadable in color after the completing and paid your application and send them from post office by simple registered express mail (簡易書留・速達郵便) along with other required documents. If you are from outside Japan, send them by tracked post (EMS etc.) within the application period.

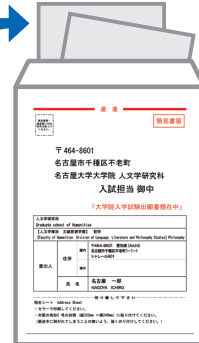
Required documents

- Documents to be printed from the web applicaton
- Documents to be downloaded from the Graduate School WEB site and prepaed
- Certificated issued by your garaduated universities



One copy is required for each application registration. Please refer to **the application guidelines** for the required documents.

The mailing address of your application will be automatically printed on the Address Sheet. When sending from overseas, do not use this sheet.



Address sheet for submitting your application

Attach the sheet to a commercially available Kaku 2 envelope (24cm x 33.2cm).



If the application guidelbook specify other submission methods, please follow it.

*The examination fee and necessary documents that have been received will not be returned in any way except for those specified it in **the application guidelines**.

< Application Completion >

Note for Application

Your application will be completed only after you complete the web application, pay the examination fee, and send by post the required documents by the deadline. Please make sure to check the deadline in **the application guidelines**.

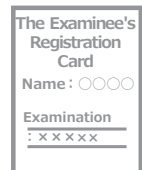
STEP

7



Print the Examinee's Registration Card

When the application is accepted and the examinee's registration card is able to be printed, you will be notified it through the e-mail address you have registered. If you do not receive the e-mail, please login to the Web application site by the day before the examination, print the card out on an A4 paper, single-sided in color, and bring this with you on the day of the examination.



8. How to Pay Entrance Examination Fee

(1) Entrance Examination Fee: 30,000 JPY

*In addition to the application fee, a service charge (about 500 JPY) will be required.

(2) Payment Period (Japan Standard Time)

October 11, 2024 – November 6, 2024

(3) Payment Method

Please pay the entrance examination fee through one of the following methods.

See “**5. Online Application Flow**” for details.

- Credit card
- Internet banking
- Convenience Store
- ATM with Pay-easy

(4) Refunding of Entrance Examination Fee

We will not refund the paid entrance examination fee once the application documents have been received. However, we will refund the paid entrance examination fee if any of the following circumstances apply. Please note that any transfer fees required for the refund process will be deducted from the refunded amount.

- a) The entrance examination fee has been paid, but no application was made or the application was not accepted
- b) The entrance examination fee has been paid twice.

***Entrance examination fee refunds will be done through bank transfer. If the refund is sent to an overseas bank account, the refunded amount will be greatly reduced, and it will take many days to complete the refund process, so please be careful when paying the entrance examination fee.**

For information on how to request a refund, please check the Nagoya University website (<https://www.nagoya-u.ac.jp/>) - Admissions - Graduate School Entrance Examination/Undergraduate Transfer Examination etc. - Regarding Entrance Examination Fees (in Japanese).

9. Examinations

(1) Written examinations

Type	Date	Time
Subjects in Major	January 7, 2025	10:00-13:00

(2) Subjects & Selection of Written Examinations

Subjects in Major

NOTE: See the attached “Examination Subjects and Instructions for Subject Choice”.

Notice for subject choice. You cannot change subjects that you have described in the application form.

(3) Submission of score sheets for foreign language (English) examination

TOEFL, TOEIC or IELTS scores will be used as the means of assessment for the foreign language (English) examination.

1. Examination Method

Submit one TOEFL or TOEIC or IELTS score sheet. There will be no written examination. The score from either TOEFL or TOEIC or IELTS will be calculated using the following method, and will be adopted as your foreign language (English) score.

■ For TOEFL iBT

English score = $50 + (\text{TOEFL iBT score} - 50) \times 5/3$ (converted scores of 100 points or higher will all be treated as 100 points)

■ For TOEFL iBT Home Edition

English score = $50 + (\text{TOEFL iBT Home Edition score} - 50) \times 5/3$ (converted scores of 100 points or higher will all be treated as 100 points)

■ For TOEFL ITP

English score = $\text{TOEFL ITP score} \times 0.34 - 108$ (converted scores of 100 points or higher will all be treated as 100 points)

■ For TOEIC

English score = $\text{TOEIC score} / 10$ (converted scores of 80 points or higher will all be treated as 80 points)

■ For TOEIC-IP

English score = $\text{TOEIC-IP score} / 10$ (converted scores of 80 points or higher will all be treated as 80 points)

*TOEIC-IP Online is not available.

■ For IELTS(Academic Module)

English Score = 100 for IELTS Overall Band Score of 6.0 or higher, 82 for 5.5, 68 for 5.0

* Any converted score of less than 60 points will count as a failing score. In this case, please be aware that the application fee is still non-refundable.

2. Eligible scores

Scores from the following can be submitted: TOEFL-iBT, TOEFL iBT Home Edition, TOEFL-ITP, TOEIC (limited to Listening & Reading Test), TOEIC-IP (limited to Listening & Reading test) or IELTS(Academic Module). International applicants who have TOEFL-PBT scores should consult the Student Affairs Section before submitting documents.

3. Submission of score sheet

Score sheets must be submitted during the application period. **(Submissions after the application period will not be accepted. Note that score sheets may not be changed after submission, without exception.)**

■ If you submit a score sheet from TOEFL iBT or TOEFL iBT Home Edition.

Please submit both (1) and (2) below.

If either (1) or (2) is not received by the application period, the score sheet will be deemed not to have been submitted.

(1) Official Score: "Institutional Score Report" or "Official Score Report"

(2) A copy of the "Test Taker (Examinee) Score Report" that is sent to the examinee.

Please note the following points when submitting the score sheets.

1) For the "Institutional Score Report" or the "Official Score Report", please be sure to complete the designated procedures so that the reports can be sent from the ETS to Nagoya University

within the application period (When making the procedures, please designate the appropriate Nagoya University's Institution Code "0312" and the Department Code. If there is no appropriate Department Code, designate "99".) Note that after the TOEFL examination, it takes about 6 to 8 weeks for the "Institutional Score Report" or "Official Score Report" to reach the designated recipient. There may be delays in arrival, so please take the TOEFL examination well ahead of time.

2) If you submit the "Institutional Score Report", use only the "Test Date Scores". (You may not use My Best Score.)

3) Please submit a copy of the "Test Taker (Examinee) Score Report" with the application documents.

■ If you submit a score sheet from TOEFL ITP

Please submit an original of the "Test Taker's Copy of Score Report (light purple card)" with the application documents.

■ If you submit a score sheet from TOEIC

Please submit an original of the "Official Score Certificate" with the application documents.

If using a digital official certificate, submit a printout of the PDF.

■ If you submit a score sheet from TOEIC-IP

Please submit an original of the "Score Report" with the application documents.

*TOEIC-IP Online scores are not available.

■ If you submit a score sheet from IELTS (Academic Module)

Please submit an original of the "Test Report Form" with the application documents.

4. Period of validity of score sheets

Tests from 2 years before the entrance examination (i.e. January 7, 2023, or later) to those for which results can be submitted by the application deadline are valid.

Please note that TOEIC "Official Score Certificate" will not be returned.

(4) Place of Examination

Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University (School of Agricultural Sciences)
500m eastward from the city bus stop "Nagoya-daigaku" or the subway station "Nagoya-daigaku"
southward from the subway station "Higashiyama-koen"

(5) Announcement of written examination results

Time/Date: around 6:00 p.m. (JST), January 7

Place: Graduate School of Bioagricultural Science website: <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>

NOTE: Applicants passing this examination must take the oral examination next.

(6) Oral examination

Time/Date: 9:00 a.m. (JST), January 8

Applicants must take the oral examination given by the department/laboratory of their first preference.

If it is judged that an applicant needs to take an additional oral examination given by the department/laboratory of his/her second preference, the second examination will start at 15:00 on the same day. The list of applicants who must take the additional examination will be posted on Graduate School of Bioagricultural Science website: <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/> around 14:00.

10. Announcement of final examination results

- (1) Time/Date: around 10:00 a.m. (JST), January 10, 2025
 - (2) Place: Graduate School of Bioagricultural Science website: <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>
- NOTE: Successful applicants will also be notified by mail.

11. Enrollment Procedures

- (1) Detailed enrollment procedures will be notified by mail early in March 2025.
 - (2) Registration fee: 282,000 JPY (expected)
 - (3) Tuition: 267,900 JPY per semester (535,800 JPY per year) (expected)
- NOTE: In case of any revision in tuition, the new rate will be made effective on and after the date of revision.
- (4) Registration date: The matriculation date is scheduled to be on March 12, 2025.

12. Notes

- (1) Applicants cannot make any changes or ask for a refund after submitting the application form.
- (2) Further notifications for the examination will be given on the notice board on the date of examination. Examinees must be seated in the examination room 20 minutes before the examination starts.
- (3) The results of the entrance examination are to be disclosed to those who have failed this entrance examination. Requests should be made within 2 weeks to 2 months after the examination. For more information, please send an e-mail to (kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp).
- (4) For applicants with disabilities or other special needs
Applicants with disabilities or other special needs that require reasonable accommodations and adjustments for taking the entrance examinations due to their disabilities or other special needs should submit the following documents to the Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University by September 20, 2024.
 - 1) Application form for reasonable accommodations or adjustments: On A4 size paper in the format of your choice, please provide information regarding the condition of your disabilities or other special needs, which specific accommodations and adjustments are required for you to take the entrance exam and why they are necessary.
 - 2) Medical certificate, any certificates of your disability (e.g., “Shogaisya-techo” in Japan), etc.: Applicants must submit Medical Certificates or other alternative documentation that provides detailed information regarding the limitation on a major life activities caused by the disabilities or other special needs, and provides sufficient justification for the requested accommodations or adjustments. (Copies acceptable)
 - 3) Third Party Statements: Applicants must obtain and submit statements from third parties that are familiar with the applicant's disabilities or special needs and can attest to the resulting limitation on a major life activities and required accommodations. (Observations and opinions from medical professionals, relevant faculty from the applicant's school, and other specialists)
 - 4) Other Documents: Applicants may, if desired, submit additional documentation providing additional information regarding their disabilities or other special needs and the recommended accommodations or adjustments.

For inquiries regarding reasonable accommodations or adjustments for taking the entrance examination or while attending Nagoya University, please feel free to contact the Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University by the application deadline.

13. Others

For more information on the examinations, ask: *Please be sure to email us.

Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601

E-mail: kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp

<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

Examination Subjects and Instructions for Subject Choice

Title of subject	The Contents of Subject and Instructions for Subject Choices
1 Applied Mathematics 2 Strength of Materials 3 Physical Chemistry 4 Organic Chemistry 5 Biological Chemistry 6 Genetics 7 Microbiology 8 Cell Biology 9 Plant Physiology 10 Animal Physiology 11 Animal Morphology 12 Insect Science 13 Ecology 14 Hydrology 15 Soil Science 16 Forest Resources Management 17 Biomass Sciences 18 Natural Polymer Chemistry 19 Plant Production Sciences 20 Animal Production Sciences 21 Fish Biology 22 Plant Protection 23 Food Economics 24 International Agricultural Sciences	<p>Visit the homepage of Graduate School of Bioagricultural Sciences (https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/)</p> <p>Select any two subjects from No.1 to 24.</p> <p>Applicants who major in “Organic Chemistry”, “Bioactive Molecules”, “Food and Biodynamics” and “Polymer Chemistry” (Applied Biosciences) are recommended to select two subjects from Nos. 3,4,5,7 and 18.</p>

- Applicants must describe subjects chosen in the Nagoya University Graduate School Application Form/ Photograph Card.
- You cannot change subjects that you have described in the application form.

Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Staff			
			Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
1. Forest and Environmental Resources Sciences	1. Resources Cycling in Pedosphere	Cycles of carbon, nitrogen, and trace elements in pedosphere and related environments. Chemical structure, function, and dynamics of soil organic matter, in particular humic substances.	WATANABE, Akira			
	2. Plant-Soil Systems	Studies on nutrient dynamics in forest ecosystems. Our specific focus is to evaluate forest health by disentangling tripartite interactions among plant, soil, and microbes.		TANIKAWA, Toko		
	3. Forest Hydrology and Disaster Mitigation Science	Research for elucidating hydrological cycle, sediment dynamics, and disaster vulnerability of local community in regional and watershed scales. Research and its social implementation for sustainable resources management is included.	GOMI, Takashi	KOTANI, Ayumi		
	4. Forest Ecology	Our laboratory covers a wide range of studies related to forest ecology, forest genetics, and forest ecophysiology. Especially structure, dynamics, and functions in tree communities. Also genetic diversity, reproductive ecology, ecophysiology, and dry matter production in tree populations.	TOMARU, Nobuhiro	NAKAGAWA, Michiko		
	5. Forest Protection	Forest entomology focusing on insect-fungus and insect-plant interactions. Forest ecosystem conservation based on the management of biological communities.	KAJIMURA, Hisashi		TOKI, Wataru	
	6. Forest Resource Management	Research on development of cutting edge measurement technology of forest, construction of theory concerning forest resource management, development of future planning and evaluation method of forest management.	YAMAMOTO, Kazukiyo			
	7. Forest Resources and Society	Studies on forest management policy for realizing both forest conservation and improvement of local livelihoods, forest certification, participatory forest management, community forestry and timber procurement strategies of enterprise	HARADA, Kazuhiro	IWANAGA, Seiji		
	8. Forest Chemistry	Organic chemical, biochemical, and analytical chemical studies on the formation process, structure, and advanced utilization of woody biomass.	FUKUSHIMA, Kazuhiko	AOKI, Dan		
	9. Biomass Resource Utilization	Isolation and structural elucidation, biosynthesis, distribution and utilization of wood extractives.		IMAI, Takanori		
	10. Wood Physics	Generation processes of growth stress and wood properties during tree growth, Growth and maturation of tropical plantation species, Analysis of reaction wood formation by molecular approach, Physical and mechanical properties of wood materials.	YAMAMOTO, Hiroyuki	YOSHIDA, Masato		WAN, Hang
	11. Timber Engineering	Mechanical durability in structural use of wood and wood-based materials, Analysis of mechanical behavior in timber structure, Quality-of-material distribution and the plan for demand and supply of forest resources, Wood utilization in urban design.	YAMASAKI, Mariko			ANDO, Kosei
	12. System Engineering for Biology	Studies on nondestructive measurement system and data science for biological resources.	TSUCHIKAWA, Satoru	INAGAKI, Tetsuya		MA, Te

*** Designated Assistant Professor

(as of October 1, 2024)

Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Staff			
			Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
2. Plant Production Sciences	13. Plant Physiology and Morphology	Studies from both aspects of structure and function on functional differentiation of plant cells and tissues, and response and tolerance to environmental stresses.	TANIGUCHI, Mitsutaka	MITSUYA, Shiro		
	14. Plant Genetics and Breeding	Breeding, molecular genetical, molecular biological, and physiological researches related to the evolution, morphogenesis, development, and environmental stress tolerance of cultivated plant species.	NAKAZONO, Mikio	TAKAHASHI, Hirokazu		AGATA, Ayumi
	15. Crop Science	Eco-physiological studies and development of novel measurement techniques to improve crop production and sustainability focusing on photosynthesis and nutrient acquisition.	KONDO, Motohiko	YANO, Katsuya	SUGIURA, Daisuke	
	16. Horticultural Science	Physiological, biochemical, and molecular biological approaches to clarify the characteristics and growth of horticultural crops, i.e. flowers, vegetables, and fruit trees, to improve their quality and productivity.		SHIRATAKE, Katsuhiko		
	17. Plant Pathology	Physiological, biochemical and molecular-biological researches on defense mechanisms of plants against plant pathogens, and interactions of plant pathogens and beneficial environmental microorganisms with host plants. Development of biocontrol measures and understanding of its mechanisms.	TAKEMOTO, Daigo	CHIBA, Sotaro		SATO, Ikuo
	18. Plant Immunology	Studies on the molecular mechanisms of plant immune response in plant-pathogen interactions. Development of a plant vaccine based on the mechanisms.		YOSHIOKA, Hirofumi		
	19. Information Sciences in Agricultural Lands	Studies to improve agricultural production by analyzing information from field (crop DNA sequences, morphology, physiological characteristics, yield, soil, environment, etc.) by means of informatics/ data science	MURASE, Jun	DOI, Kazuyuki		NISHIUCHI, Shunsaku SAWADA, Kozue***
	20. Food Economics	Socioeconomic studies on food system, regional resource management and multifunctional roles of agriculture.	TOKUDA, Hiromi	TAKESHITA, Hironobu		MIURA, Satoshi
	21. Plant Gene Function	Studies on plant gene function and its application.	ASHIKARI, Motoyuki	HOBO Tokunori*		NAGAI, Keisuke
	22. Developmental and Systems Plant Biology	Florigen function in the shoot apical meristem of plants. Root tissue structures that contribute to plant growth and adaptation to abiotic stress.	TSUJI, Hiroyuki	YAMAUCHI, Takaki		
	23. Plant Genomics and Breeding	Studies on plant genomics and breeding to solve various problems of modern society, i.e. environment, energy, food problems, etc.	SAZUKA, Takashi			OKADA, Satoshi
	24. Bioindustry	Studies on plant grafting and systemic signaling in plants to improve plant resources for future sustainability.	NOTAGUCHI, Michitaka	KUROTANI, Kenichi* KASAHARA		
	25. Tropical Bioresources	Exploring and evaluating the traits of tropical plant resources for sustainable agricultural development in the tropics responding to diversification of food demand and climate change (drought, saline stress, flooding).	EHARA, Hiroshi			NAKATA, Mana
	26. Genetic Information for Bioresources	Aiming at stable crop production under climate change, we conduct research on the extraction and utilization of genetic information related to useful traits from bioresources and utilization of low-temperature plasm for agricultural practices.	INUKAI, Yoshiaki			
27. Practical Studies in Africa	Research on environmental response of crop genetic resources and cultivation technology development for improving and stabilizing crop production in Africa.		MAKIHARA, Daigo			
28. Practical Studies in Asia	Studies on agriculture and rural development including natural resources management in Asia for better livelihoods, poverty reduction and food security.		ITO, Kasumi			

* Designated Associate Professor

** Designated Lecturer

*** Designated Assistant Professor

Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Staff			
			Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
3. Animal Sciences	29. Animal Genetics and Breeding	Studies on the genetic basis of qualitative and quantitative traits in mammals and birds; evolutionary genetics research of animals using genetic engineering such as genome editing; evaluation, conservation and utilization of animal genetic resources; and development of new laboratory animal models for human disease and biological functions.	SUMIYAMA, Kenta	ISHIKAWA, Akira		YAMAGATA, Takahiro TANABE, Akira
	30. Genome and Epigenome Dynamics	Epigenetic regulatory systems for transposons and genes in vertebrates. Epigenome regulation during germ cell development. Genome-epigenome interactions during evolution. Mechanism of cancer cell growth inhibition by activation of transposons.	ICHIYANAGI Kenji			OHTANI, Hitoshi
	31. Animal Morphology	Formation and deformation of the traits in vertebrates. Viral endogenization and the roles of the viral-derived element in vertebrates. Transgenerational epigenetic inheritance (TEI).	HONDO, Eiichi			IIDA, Atsuo
	32. Animal Integrative Physiology	Understanding the regulatory mechanisms of circadian and seasonal rhythms in vertebrates. Development of transformative bio-molecules that improve animal production and human health. Studies on physiological regulation of gene expression and release of growth factors in birds.	YOSHIMURA, Takashi	OHKAWA, Taeko	KON, Naohiro**	TSUKADA, Akira NAKAYAMA, Tomoya***
	33. Animal Reproduction	Basic studies on the neuroendocrinological mechanism regulating animal reproduction and its application to animal production and drug discovery.		UENOYAMA, Yoshihisa INOUE, Naoko		
	34. Animal Nutrition	Studies on the metabolic properties of nutrients (amino acids and vitamin C etc.) and their physiological functions in avian and mammalian species. Analysis of the uptake mechanism of biomolecules into avian eggs and its application to production of valuable protein.	MURAI, Atsushi			FURUKAWA, Kyohei
	35. Animal Production Science	Studies on regulatory mechanism of physiological and reproductive functions in ruminants and its utilization for animal production.	OHKURA, Satoshi	MATSUYAMA, Shuichi NAKAMURA, Sho*		
	36. Avian Bioscience	Functional genomics-based identification of genes that control useful phenotypes of birds. Production of genetically manipulated birds for model animals and industrial use.	NISHIJIMA, Ken-ichi			OKUZAKI, Yuya
	37. Fish Biology	Morphological, physiological, and behavioral studies of the brain, sensory receptors, motor systems, and peptidergic neurons in aquatic animals.	YAMAMOTO, Naoyuki	ABE, Hideki		GOTO, Maki HAGIO, Hanako***
	38. Sericulture and Entomoresources	Molecular mechanisms of baculovirus infection, baculovirus-host interaction and antiviral responses in insects.	IKEDA, Motoko			HAMAJIMA, Rina
39. Applied Entomology	Studies on ecology and management methodology of insect pests by physiological, molecular, and chemical approaches.		MINAKUCHI, Chieka		MITAKA, Yuki	

* Designated Associate Professor
 ** Designated Lecturer
 *** Designated Assistant Professor

(as of October 1, 2024)

Laboratories, Areas of Research, and Staff

Department	Laboratory	Area of Research	Staff			
			Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
4. Applied Biosciences	40. Organic Chemistry	Bioorganic studies on naturally occurring organic molecules possessing novel structure and biological activity: development of new synthetic methodologies, total synthesis of natural products, elucidation and control of the biofunctions.	NISHIKAWA, Toshio			MIYASAKA, Tadachika
	41. Bioactive Molecules	Studies on identification, action mechanism, and application of bioactive molecules produced by plants and microorganisms. Mechanistic analysis and application of carbohydrate-binding small molecules.		NAKAGAWA, Yu	KONDO, Tatsuhiko	
	42. Chemical Biology of Natural Products	Isolation, structure determination, synthesis, biosynthesis, and modes of action of bioactive natural products that regulate biologically and physiologically intriguing phenomena. Anesthetic substances from venomous mammals, and key substances for marine symbiotic relationships. Development of new analytical methods for target molecules using fluorescent probes.	KITA, Masaki	TSUNEMATSU, Yuta		INOUE, Takato
	43. Polymer Chemistry	Studies on controlled syntheses and functions of biomaterials and medical polymers including artificial glycoconjugates, bifunctional polymers and environmentally friendly synthetic polymers.	AOI, Keigo	NOMURA, Nobuyoshi		
	44. Applied Enzymology	Mechanistic enzymology of flavin and pyridoxal enzymes. Physiological function of isoprenoid, amino acids, and vitamins. Microbial and enzymatic production of useful substances. Lipid biosynthesis in Archaea.	HEMMI, Hisashi	ITO, Tomokazu		
	45. Molecular Biotechnology	Molecular bioengineering for novel biomolecules, bioprocesses and analytical processes. Currently, novel monoclonal antibody screening, single molecule technology for protein engineering, and the mechanism of translation-enhancing peptide are major research topics.	NAKANO, Hideo	COROVIC Jasmina		KATO, Teruyo
	46. Soil Biology and Chemistry	Studies on the microbial population, and the chemical and biological processes occurring in the paddy field ecosystem.	ASAKAWA, Susumu	WATANABE, Takeshi		SHINJO, Rina
	47. Applied Microbiology	Molecular and chemical genetic studies on gene regulation of agriculturally and industrially important microorganisms, especially filamentous fungi.	KIMURA, Makoto			MAEDA, Kazuyuki
	48. Food and Biodynamics	Chemical biology of electrophilic ligands, such as lipid peroxidation products and functional food molecules.	SHIBATA, Takahiro			NAKASHIMA, Fumie
	49. Molecular and Cellular Regulation	Biochemical and molecular cell biological studies on signal transduction, intracellular traffic, gene expression regulation in animal cell differentiation, growth, proliferation and cell death.	SHIBATA, Hideki		TAKAHARA, Terunao	
	50. Molecular Bioregulation	Biochemistry and molecular cell biology on the biosynthesis and dynamics of proteins, nucleic acids and their complexes in mammals, and on the functions and regulations of these molecules in living organisms, including cell proliferation and tissue differentiation. Specifically, we are studying mammary gland development and milk synthesis, translational control including ribosomes, and the epithelial responses to bioactive factors.		NADANO, Daita		OHSHIMA, Kenji
	51. Glyco-Life Science	Interdisciplinary studies between bioagricultural, medicinal, and pharmaceutical sciences on regulatory mechanisms for glycans-involved phenomena to attain better health, environment, and food	SATO, Chihiro			HANE, Masaya Wu, Di****
	52. Animal Cell Physiology	Studies on functions of extracellular matrix, transporter proteins, and signal transduction.		MATURANA, Andrés Daniel	NIIMI, Tomoaki	
53. Nutritional Biochemistry	Nutritional regulation of enzyme and gene expression in mammals. Molecular mechanisms for hepatocyte differentiation in 3-dimensional culture systems. Physiological significance of liver circadian rhythm.		ODA, Hiroaki			

54. Alimentary Neuroscience	Omnivorous animals including human evaluate and select specific foods among several candidates before consumption. Our goal is the identification of the neural mechanism for food choice.	NAKAJIMA, Ken-ichiro			RATTANAJEARAKU L, Nawarat*** SHIOTANI, Kazuki
55. Plant Signaling	Studies on molecular mechanisms underlying optimization of plant growth and development in response to environmental cues with focusing on phytohormone function.	SAKAKIBARA, Hitoshi	KIBA Takatoshi	HASHIMOTO-SUGIMOTO, Mimi	BELLEGARDE, Fanny***
56. Biochemistry	Biochemical, molecular genetic, and microscopic studies on regulatory mechanisms of development of plant organs such as flowers, pollen grains, and roots. Studies on molecular functions and regulation of membrane proteins that support photosynthesis and inorganic nutrient assimilation in plants and cyanobacteria.		ISHIGURO, Sumie		MAEO, Kenichiro MAEDA, Shin-ichi NAKANISHI, Yoichi
57. Molecular and Functional Genomics	Biochemical, cellular and genetic studies on molecular mechanisms of chlorophyll biosynthesis, nitrogen fixation, circadian rhythm and phytohormone signal transduction in cyanobacteria and plants. Cyanobacterial microevolution.	FUJITA, Yuichi	YAMASHINO, Takafumi		YAMAMOTO, Haruki
58. Plant Cell Function	Molecular mechanisms of plant growth and development, and their regulation in response to environmental signals. Studies on the construction of artificial membrane-less organelles in plant cells.		UEGUCHI, Chiharu TAKEDA, Shin		
59. Plant Integrative Physiology	Understanding plant circadian rhythms and seasonal behaviors with multi-omics approaches. Improvement of plant biomass and productivity by controlling key genes for circadian and seasonal behaviors.	NAKAMICHI, Norihito			MURANAKA, Tomoaki

**Designated Lecturer

***Designated Assistant Professor

****Assistant professor in Bioscience and Biotechnology Center

(as of October 1, 2024)

2024 年度 博士前期課程外国人留学生入学試験実施状況

Admission Data (International Students) for the Master's Program of Academic Year 2024

専攻 Department	志願者数 Number of Applicants	受験者数 Number of Examinees	合格者数 Number of Successful Applicants
森林・環境資源科学専攻 Forest and Environmental Resources Sciences	0	0	0
植物生産科学専攻 Plant Production Sciences	5	5	2
動物科学専攻 Animal Sciences	1	1	0
応用生命科学専攻 Applied Biosciences	1	1	0
計 Total	7	7	2

【卓越大学院プログラムについて】

卓越大学院プログラムは、文部科学省が 2018 年に導入した 5 年一貫の博士課程プログラムです。大学院生が研究と多様な能力の開発に打ち込めるようにするため、特別な経済的支援が用意され、さらに、TA や RA を通して指導能力を学び、追加の収入が得られるような仕組みが用意されています。生命農学研究科では、以下のプログラムに参画しています。

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム (GTR)

応用生命科学専攻、植物生産科学専攻、森林・環境資源科学専攻、動物科学専攻は2018年度より本プログラムに参画しています。

詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/>

情報・生命医科学コンボリューション on グローカルアライアンス卓越大学院 (CIBoG)

応用生命科学専攻は2019年度より本プログラムに参画しています。

詳細は以下のHPをご覧ください。

<https://cibog.med.nagoya-u.ac.jp>

The WISE Program (Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education) is an integrated five-year program introduced by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in 2018. Special financial support has been put in place to support graduate students as they go about their research activities and develop a diverse range of skills. Systems have also been developed to help students acquire teaching skills and obtain additional income through the TA and RA programs. Graduate School of Bioagricultural Sciences has been involved in the following programs.

Graduate Program of Transformative Chem-Bio Research (GTR)

Department of Forest and Environmental Resources Sciences, Plant Production Sciences, Animal Sciences, and Applied Biosciences have been involved in this program since 2018.

For more details, please see the following website:

<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/en/>

Convolution of Informatics and Biomedical Sciences on Glocal Alliances, CIBoG

Department of Applied Biosciences has been involved in this program since 2019.

For more details, please see the following website:

<https://cibog.med.nagoya-u.ac.jp/en>